TOSTEM トステム株式会社

サーフポートⅡ（一般地域用）　取付け説明書

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注　意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

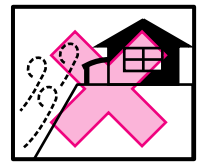
●製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

●母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。

●本製品は一般地域用です。積雪の多い地域には取り付けないでください。
一般地域用600タイプ…積雪20cm以下の地域

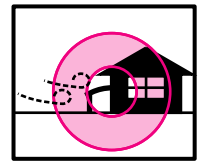
●本製品は地上階に取り付ける設計となっております。2階以上の高所に取り付けると強風により製品が破損するおそれがあります。



●柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。

●崖などの高低差のある場所には設置しないでください。

●風当りの強い場所及びサイドスクリーンを付ける場合は補助柱で製品の補強をするとともに、風にあおられない向きに取り付けてください。
（前枠を建物側に向けて設置してください。）
（例1）：丘陵地
（例2）：田畑・野原・風を妨げる物のない平地に隣接した場所や海岸沿いなど



■部材の固定

●タッピンねじの下穴は、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。

●組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まぬように締め付けてください。

■施工時の足場について

●施工時は足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

■基礎について

●基礎は当社指定寸法以上にしてください。

●地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようにしてください。

●寒冷地で凍上のおそれのある地域に取り付ける場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。

●基礎には海砂及び急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。

●養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないようご指示ください。

●柱には水抜き穴をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

■絶縁処理について

●アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。

■波板パネルについて

●波板パネルは当社指定の製品をご使用ください。

■施工について

●みだりに改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・四周の囲いなど）をしないでください。

●取付けは専門業者の方が行なってください。専門知識がない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

●シーリング指定個所には必ずコーキング材を充てんしてください。

●水平・垂直は正確に測ってください。直角が出ていないと施工に支障がでるおそれがあります。

●当社指定の付属品以外は取り付けないでください。

■構造説明図

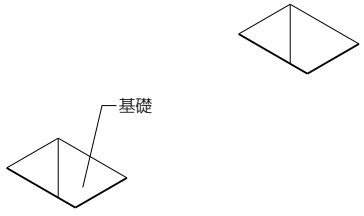
※ハイルーフ仕様を施工の際は、側枠に張ってあるJISラベルをはがしてください。

※はりと前枠、はりと母屋、はりと後枠の取付けねじは、トラスタッピンねじ(3種) φ4×14を使用してください。

トステムラベル
5 波板フック
5 波板
はりキャップ
3 前枠
JISラベル
2 はり
3 母屋
トラスタッピンねじ (3種) φ4×14
トラスタッピンねじ (2種) φ4×20
柱カバー
母屋固定金物
3 後枠
2 柱
水抜き穴(φ6) 現場加工
ナベタッピンねじ (3種) φ4×14
皿タッピンねじ (1種) φ5×55
1 基礎
G.L
4 側枠(左右勝手あり)
600
500
300
800
600
100
ブラケット
六角ボルト (Wセムス) M8×30
トラスタッピンねじ (2種) φ4×20
ぐり石
アンカー棒

■取付け順序

1 基礎の施工



■取付け詳細

1 基礎の施工

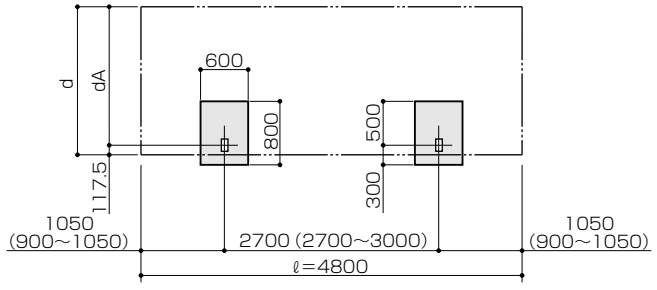
●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

単位mm

呼称	d	dA
24	2403	2285.5
27	2709	2591.5

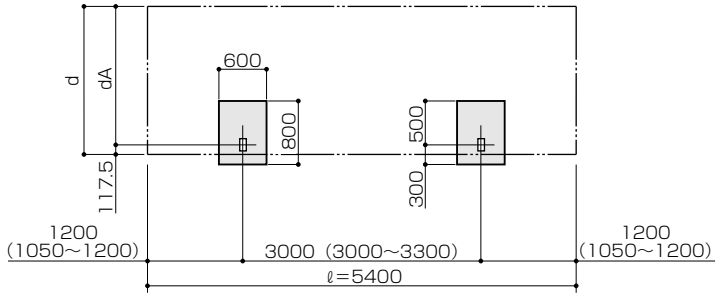
■墨出し位置

●48サイズ

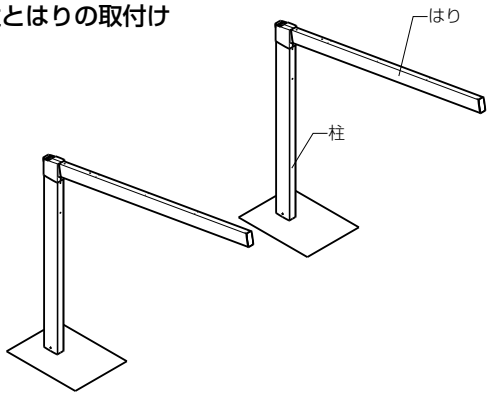


※( )内寸法は柱移動範囲を示す。

●54サイズ

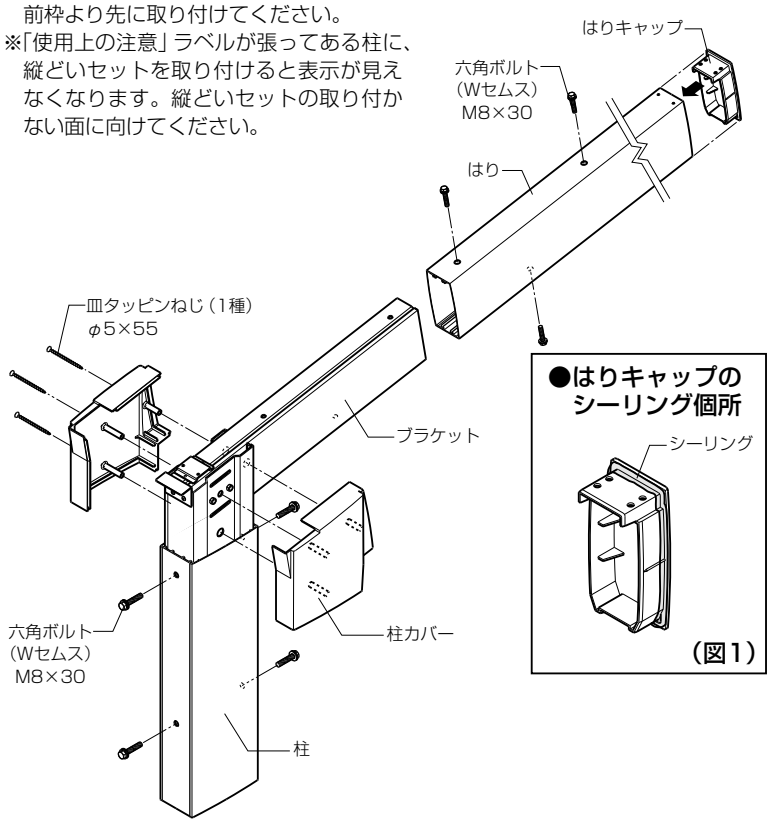


2 柱とはりの取付け



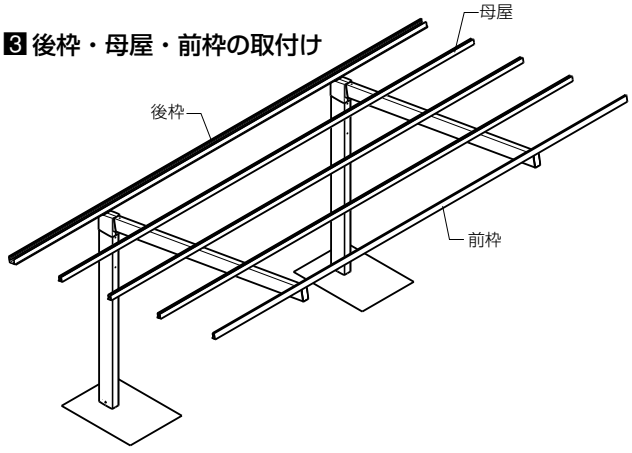
2 柱とはりの取付け

①柱にブラケット・アンカー棒をそれぞれ取付け、柱を建て込みます。
②はりをブラケットに取り付けます。その後、柱カバー・はりキャップをそれぞれ取り付けます。
※はりキャップを取り付ける際は、コーキング材を充てんしてください。（図1参照）
※はりキャップは、前枠を取り付けた後では取り付けられません。必ず、前枠より先に取り付けてください。
※「使用上の注意」ラベルが張ってある柱に、縦どいセットを取り付けると表示が見えなくなります。縦どいセットの取り付かない面に向けてください。



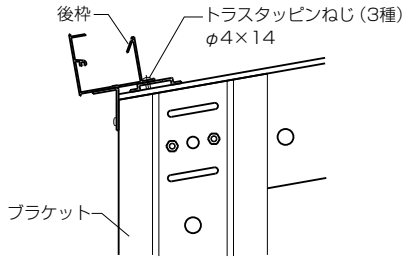
（図1）

3 後枠・母屋・前枠の取付け

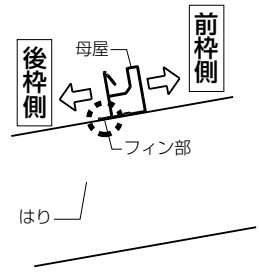


3 後枠・母屋・前枠の取付け

①後枠をブラケットに取り付けます。（図2参照）
②母屋を母屋固定金具ではりに固定します。（図3参照）
※後枠側にフィン部が向くように取り付けます。
③前枠をはりに取り付けます。
※柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋の使用しない穴に穴ふさぎシールを張ってください。

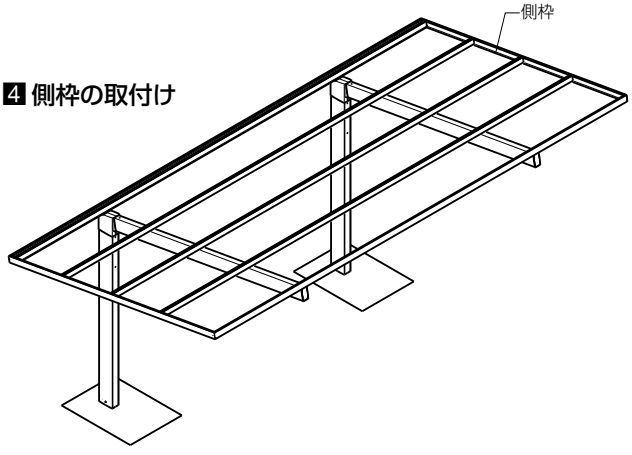


（図2）



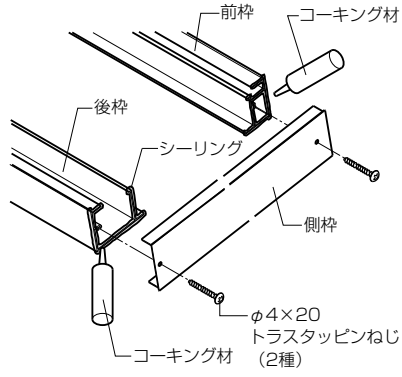
●後枠側に必ずフィン部がくるように取り付けます。
（図3）

4 側枠の取付け

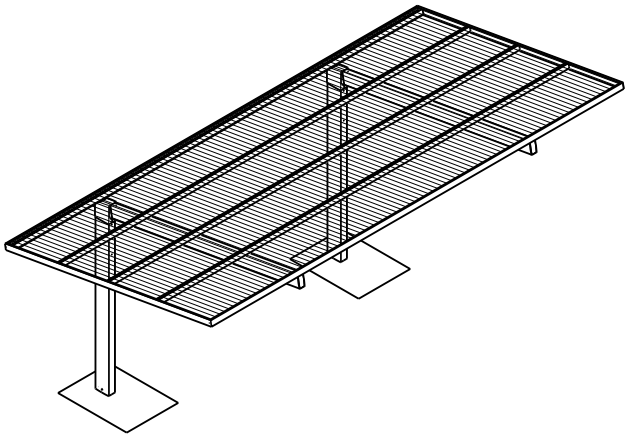


4 側枠の取付け

①側枠を前・後枠及び、母屋に取り付けます。
※側枠には左右があります。トステムラベルがある方を前枠側にしてください。
※側枠を取り付けるねじは2種類あります。
※前後枠と側枠の接続部にシーリング処理をしてください。
②屋根枠まわりの対角・水平出し及び、柱の垂直を出してください。

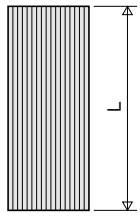


5 波板の取付け
6 縦どいセットの取付け



5 波板の取付け

●波板を波板フックで取り付けます。
※塩ビ波板はラベルが張ってある面が上面です。
※ポリカ波板はラベルが張ってある面が下面です。
　ただし、スモークマットの場合は上面です。
※重ねしろは1.5山です。

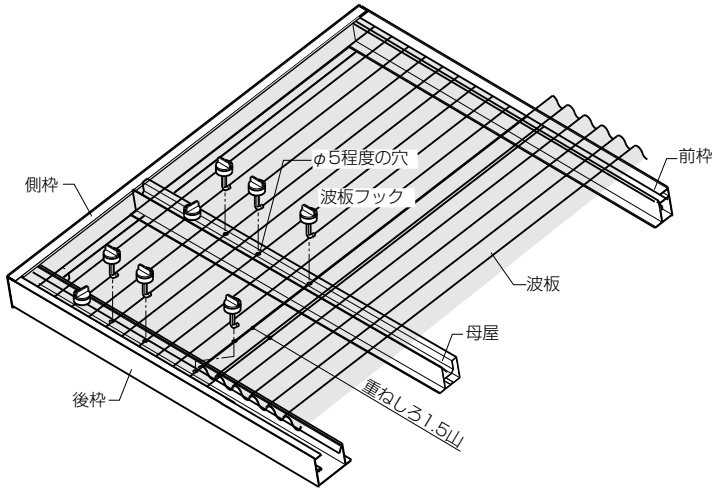


■波板寸法 単位mm

呼　称	L
24	2420
27	2730

■波板枚数

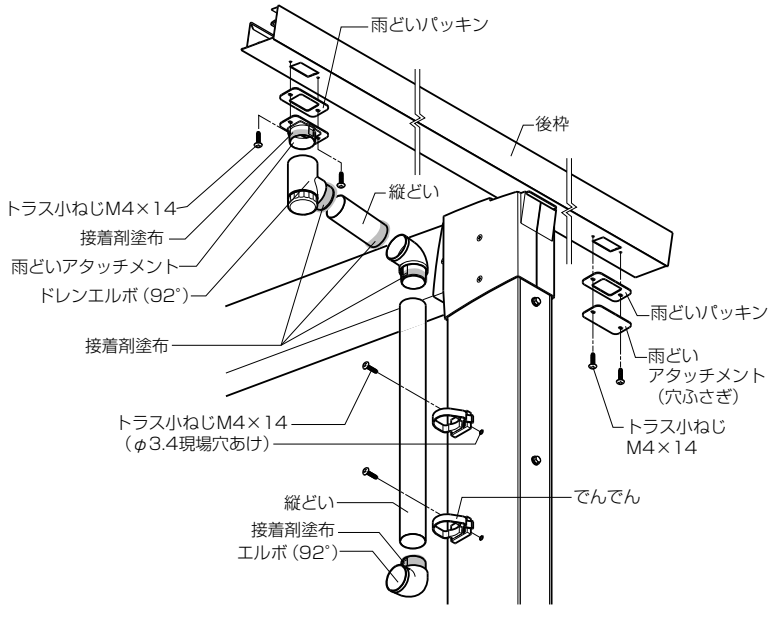
呼　称	枚　数
48	8枚
54	9枚



※母屋・後枠に沿って波板の重なり部及び、中央の4カ所に穴をあけて、波板フックで止めてください。

6 縦どいセットの取付け

①後枠の両端に水抜き穴加工がしてあります。片方に縦どいセットを取り付けます。
②もう一方の穴は、雨どいアタッチメント（穴ふさぎ）を取り付けます。

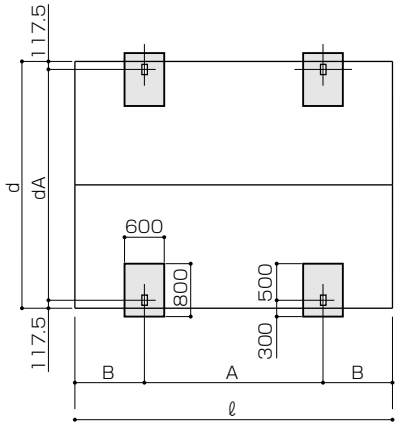


■M合掌の施工順序

1 基礎の施工

●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

■墨出し位置



単位mm

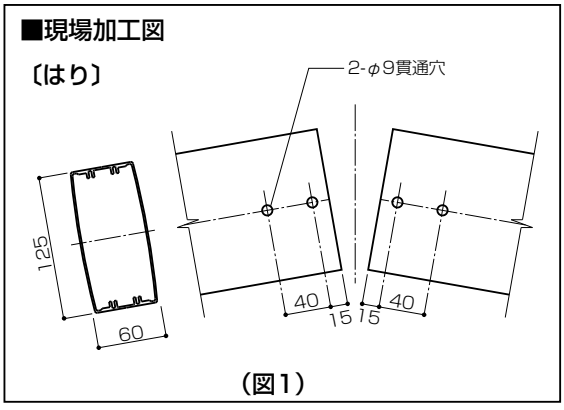
呼称	d	dA
24-24	4827	4592
27-27	5437	5202

呼称	ℓ	A	B
48	4800	2700 (2700～3000)	1050 (900～1050)
54	5400	3000 (3000～3300)	1200 (1050～1200)

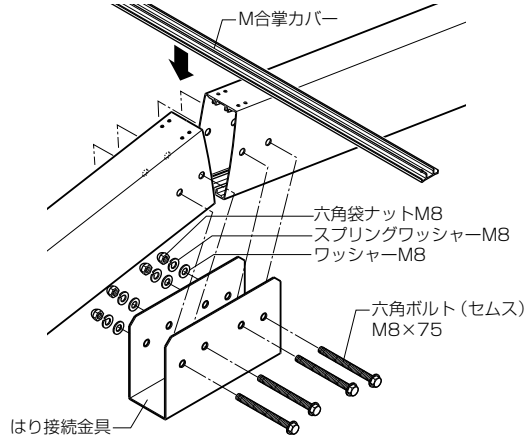
※(　)内寸法は柱移動範囲を示す。

2 本体の組立て

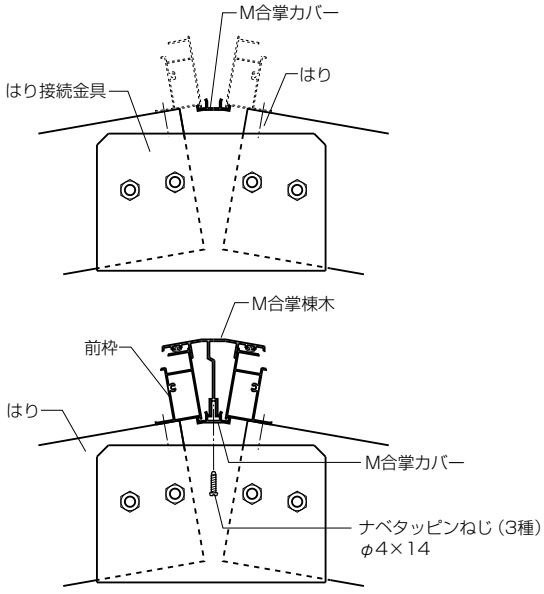
①組み立て前に、はりの前枠側を現場加工してください。(図1参照)
②柱・はりを組み立てて建て込み、はりとはりをはり接続金具で接続します。(図2参照)
③M合掌カバーをはり接続金具の上にのせた後、前枠・母屋・後枠・側枠を本体に取り付けます。(図3参照)
④M合掌棟木、M合掌棟木キャップをそれぞれ取り付けます。(図4参照)
※M合掌部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。



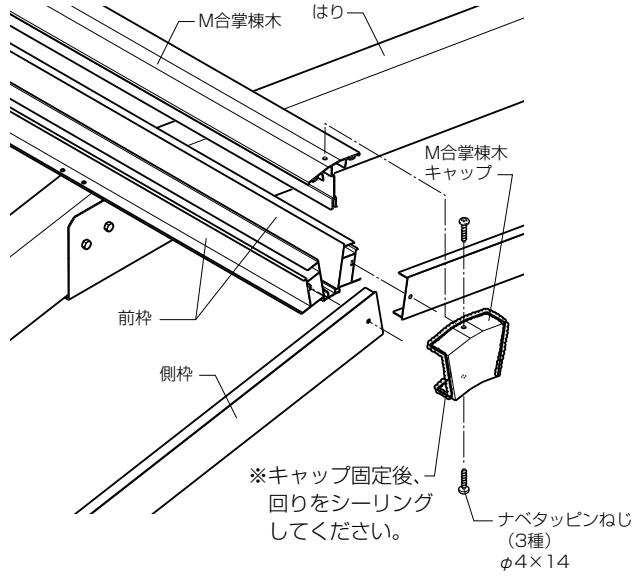
(図1)



(図2)



(図3)



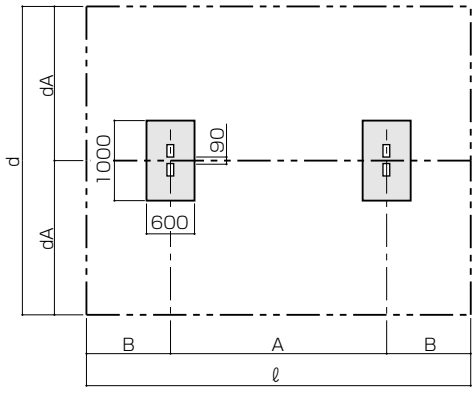
(図4)

■Y合掌の施工順序

1 基礎の施工

●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

■墨出し位置



単位mm

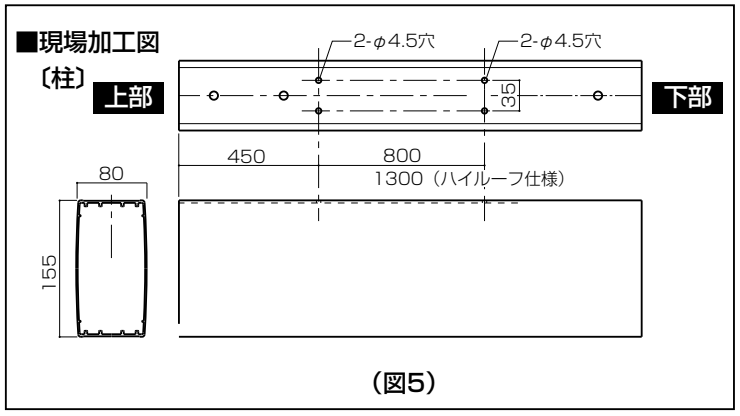
呼称	d	dA
24-24	4817	2408.5
27-27	5427	2713.5

呼称	ℓ	A	B
48	4800	2700 (2700～3000)	1050 (900～1050)
54	5400	3000 (3000～3300)	1200 (1050～1200)

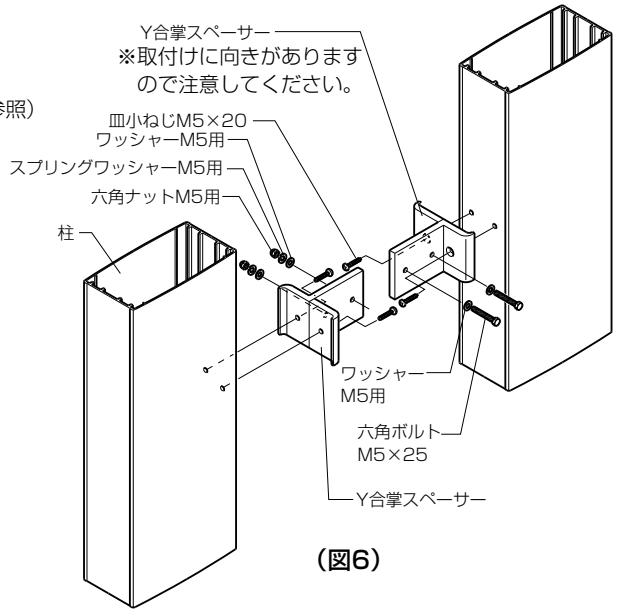
※（　）内寸法は柱移動範囲を示す。

2 本体の組立て

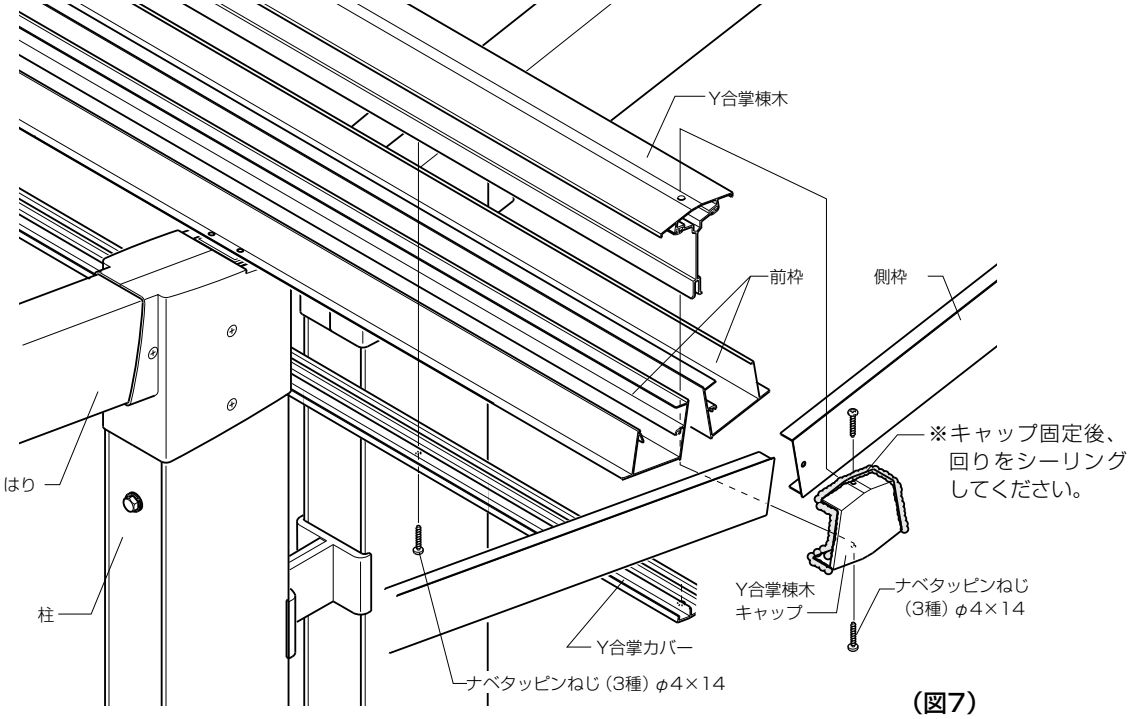
①組立て前に柱を現場加工してください。(図5参照)
②柱にY合掌スペーサーを取り付け、柱を接続して建て込みます。(図6参照)
③柱、はり、前枠、母屋、後枠、側枠を組み立てます。
④Y合掌棟木、Y合掌カバー、Y合掌棟木キャップをそれぞれ取り付けます。(図7参照)
※Y合掌部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。



(図5)



(図6)



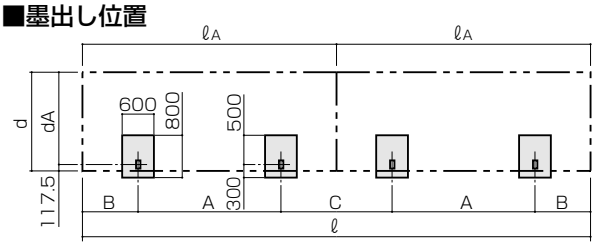
(図7)

■縦連棟の施工手順

1 基礎の施工

●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

■墨出し位置



単位mm

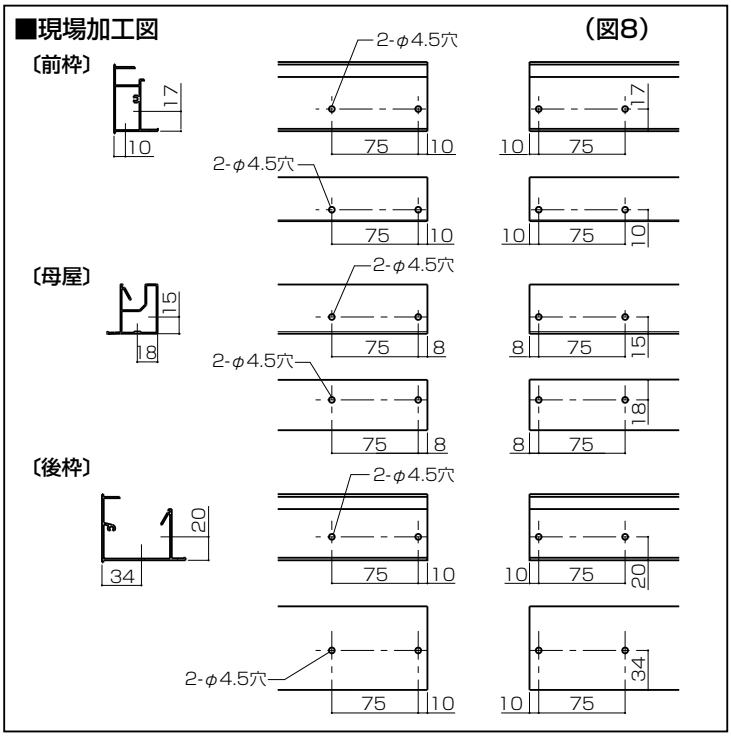
呼称	d	dA
24	2403	2285.5
27	2709	2591.5

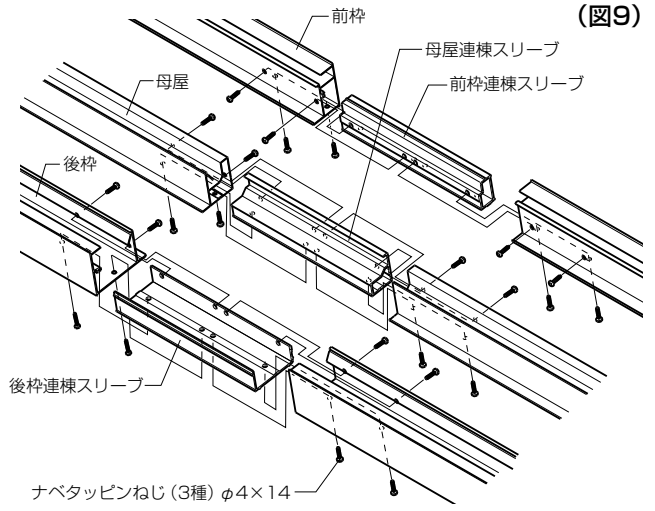
※（　）内寸法は柱移動範囲を示す。

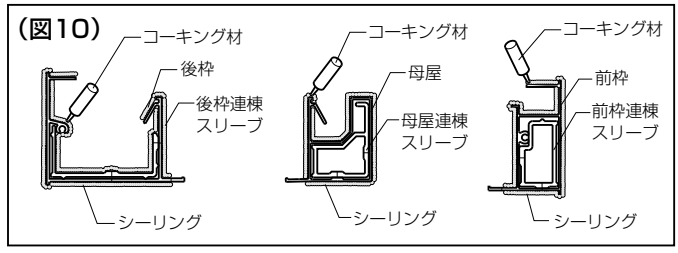
呼称	ℓ	ℓA	A	B	C
24-24	9598	4799	2700 (2700~3000)	1050 (900~1050)	2098 (1798~2098)
27-27	10798	5399	3000 (3000~3300)	1200 (1050~1200)	2398 (2098~2398)

2 本体の組立て

①組立て前に、前枠、母屋、後枠の連棟側を現場加工してください。（図8参照）
②連棟部分を組み立てます。（図9参照）
※連棟部分にコーキング材を充てんし、連棟スリーブ、前枠、母屋、後枠をそれぞれ接続します。（図10参照）
※連棟部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。

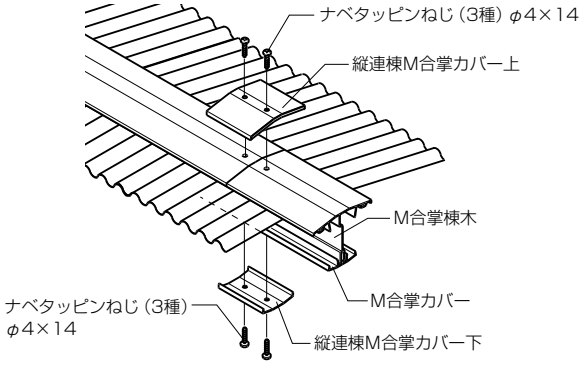


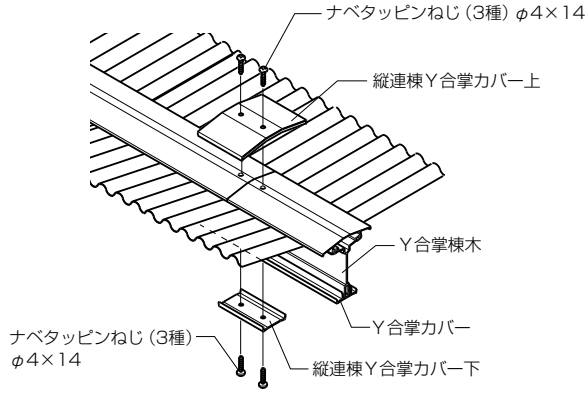


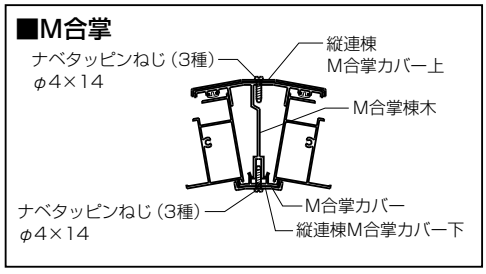


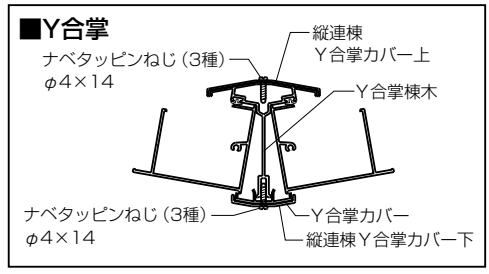
3 M合掌・Y合掌の縦連棟

●合掌棟木及び合掌カバーの接続部分に縦連棟合掌カバー上・下を取り付けます。



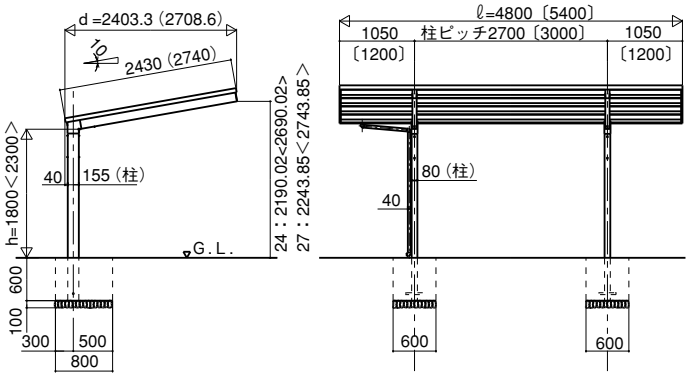




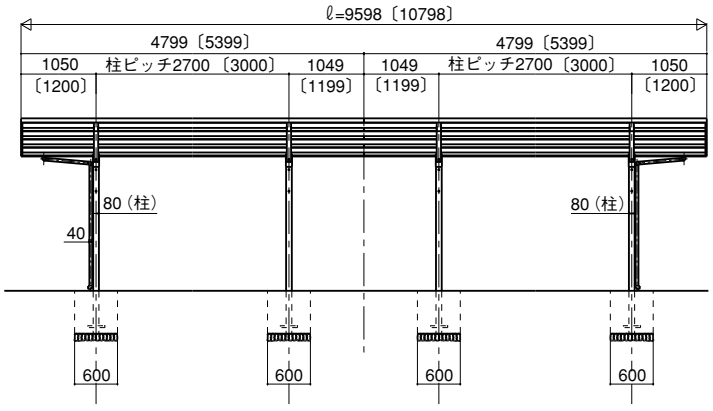


■納まり参考図

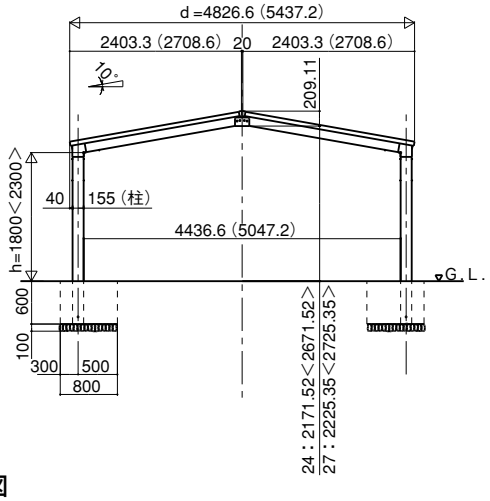
■基本



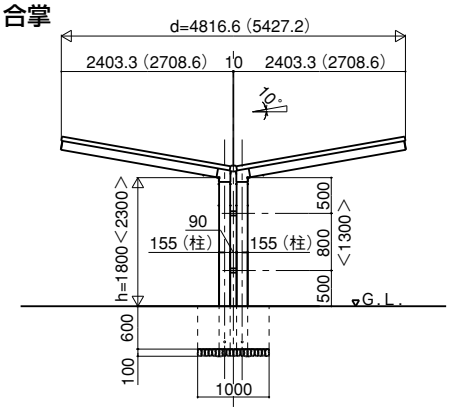
■縦連棟



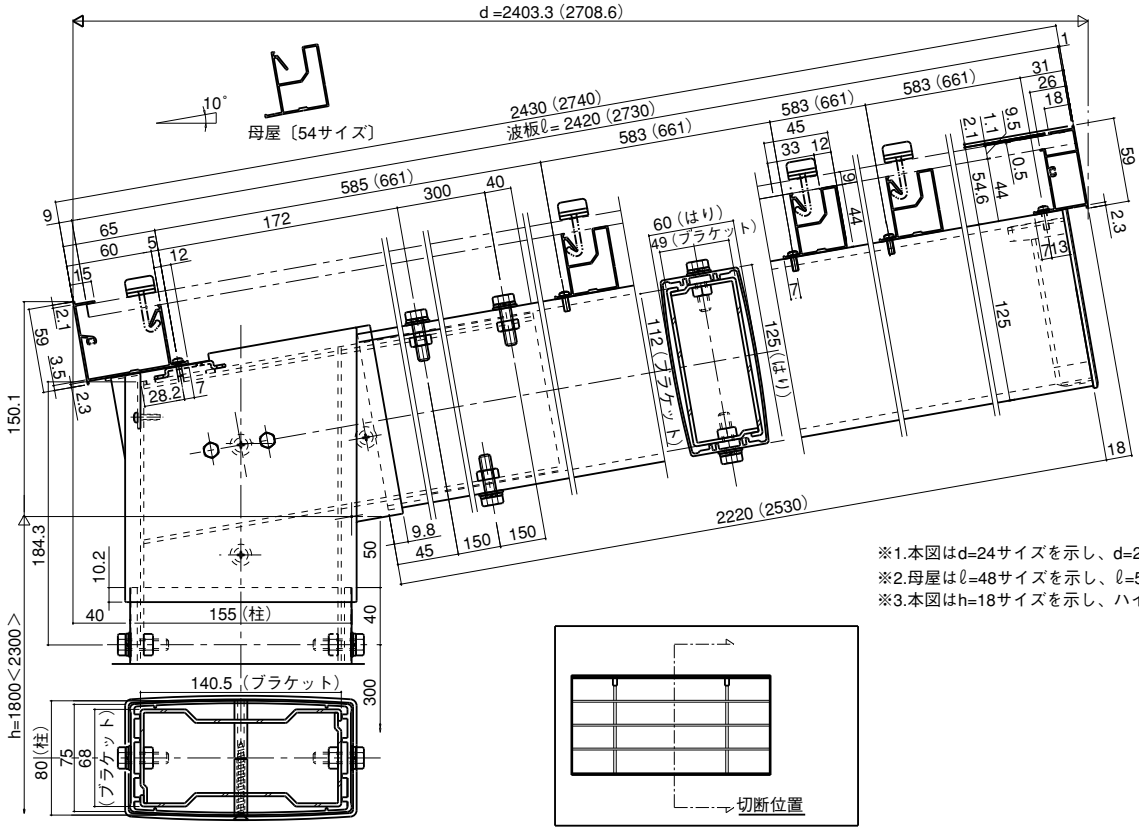
■M合掌



■Y合掌



■断面図



※1.本図はd=24サイズを示し、d=27サイズは（ ）内に示す。
※2.母屋はℓ=48サイズを示し、ℓ=54サイズは〔 〕内に示す。
※3.本図はh=18サイズを示し、ハイルーフ仕様は〈 〉内に示す。